

札幌医科大学後援会だより

H23.3.31

後援会の概要

- 札幌医科大学後援会は、在学生の保護者を会員とし、その会費をもって事業運営を行い、大学の教育事業を後援し、その発展に協力することを目的としています。

後援会の事業内容

- 後援会では、学生向け講演会の開催や、大学の教育活動等への支援や学生の実習・海外研修に対する支援、福利厚生や課外活動（サークル活動等）への支援等の事業を行っています。

【平成22年度における主な事業実績】

札幌医科大学開学60周年（創基65周年）記念事業募金への寄附

札幌医科大学は、平成22年に、昭和25年の創設から60周年、前身の道立女子医学専門学校（現道立大学）の創立からは創基65周年を迎えました。

後援会としては、平成22年4月2日の定期総会において、大学が行う記念事業に対して協力することを決定し、100万円を寄附しました。

この寄付金は、学生から要望が多かったトレーニングルームの機器や体育館のシャワー室の改修などの整備・向上に充てられ、学生の教育環境の充実を図ることができました。

今後も、大学の教育活動等への支援を通じ、大学の更なる発展に協力いたします。

◆◆◆ 「学生向け講演会」 ◆◆◆

平成22年12月14日札幌医科大学臨床教育研究棟1階の講堂において、第2回となる平成22年度「学生向け講演会」をタレントの向井亜紀氏をお招きして、開催いたしました。

「学生向け講演会」は、平成20年度に札幌医科大学後援会として行った学生及び保護者へのアンケートからの要望を受け、札幌医科大学の創立60周年に併せ、学生会との共催で開催して参りました。

講演会では、「命を輝かせるために」と題し、向井氏ご自身の闘病中の経験から、どのような状況にあっても未来に対する明るいイメージを持つことが、命を輝かせ、乗り越える力となることなどを語られ、参加者に感動と勇気をくださいました。

終了後のアンケートでは、「医療人としての患者さんとの関わり方を考える上での参考となった」「患者さんの心を理解できる医師になりたい」など多くの感想が学生さんから寄せられました。



講演する向井亜紀氏



左から松名学生会長・島本学長・
向井亜紀氏・秋野後援会長・

平田常務理事

◆◆◆ 後援会活動に係る情報提供 ◆◆◆

◆ 各種の情報提供

後援会のHP（札幌医科大学のHPからリンク）において、活動状況について随時お知らせしています。

また、「後援会だより」を年1回発行しております。

◆◆◆ 大学の教育活動等への支援 ◆◆◆

◆ 学生用図書への寄贈

医学・保健医療学専門書や国家試験対策用図書を附属総合情報センター（図書館）に寄贈しました。

医学・保健医療学専門書	207冊	
国家試験対策図書	213冊	計420冊



◆ 各種国家試験受験料等の助成

学生の国家試験（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）受験料の全額を負担するとともに、国家試験対策模擬試験受験料への助成を行いました。

◆◆◆ 学生の海外研修への支援 ◆◆◆

◆ 学生の海外研修参加経費の助成

- ・カナダ アルバータ大学語学研修
参加者 10名（医学部8名 保健医療学部2名）
- ・中国医科大学学生交流研修
参加者 2名（医学部）
- ・英国への医学留学（オックスフォード大学）
参加者 1名（医学部）



◆◆◆ 学生の課外活動への支援 ◆◆◆

◆ 大学祭経費やサークル活動への助成

学生の自主的な課外活動である大学祭や、38あるサークル（文化系14 体育系24）の活動経費の大半を助成しました。

〔 本後援会は、保護者の皆様のご支援のもと活動を行っております。
今後とも本会へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。 〕